

## 公益社団法人日本動物用医薬品協会役員の報酬等及び費用に関する規程

### (目的及び意義)

第1条 この規程は、公益社団法人日本動物用医薬品協会（以下「この法人」という。）の定款第31条の規定に基づき、役員の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の規定に照らし、妥当性と透明性の確保を図ることとする。

### (定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 常勤役員とは、総会で選任された役員のうち、この法人を主たる勤務場所とする者をいう。
- (3) 非常勤役員とは、常勤役員以外のものをいう。
- (4) 報酬等とは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号で定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。
- (5) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤費、旅費（宿泊費を含む）、手数料等の経費をいう。報酬等とは明確に区分されるものとする。

### (報酬の支給)

第3条 この法人は、常勤役員の職務執行の対価として報酬を支給することができる。

- 2 常勤役員の報酬は年額とする。
- 3 常勤役員の退職に当たっては、当該役員の任期に応じ退職手当を支給することができる。

### (報酬等の額の決定)

第4条 この法人の常勤役員の報酬総額は別表第1「年間報酬総額」に定める金額の範囲内とし、理事会の承認を得て、その総額の範囲内で各々の理事に配分するものとする。

- 2 常勤の理事に対する退職手当は、別表2「常勤役員退職手当の算出要領」に定める算式により算出される額とする。
- 3 退職金は、役員として円満に勤務し、かつ辞任又は死亡により退任した者

に支給するものとし、死亡により退任した者については、その遺族に支払うものとする。

(報酬の支給日)

第5条 報酬は、年間報酬額を定める場合を含め、月額をもって支給するものとし、毎月一定の定まった日に支払うものとする。

(報酬等の支給方法)

第6条 報酬等は通貨をもって支払うものとする。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。

2 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申出のあった立替金、積立金等を控除して支給する。

3 退職金の支給時期は、理事会承認後2か月以内とする。

(通勤費)

第7条 役員には、その通勤の実態に応じ、通勤費を支給する。

(費用)

第8条 この法人は、役員がその職務の執行に当たって負担し、又は負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また、前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

(公表)

第9条 この法人は、この規程をもって、公益法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項に定める報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、総会の決議を経て行う。

(補則)

第11条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

この規程は、公益社団法人日本動物医薬品協会の設立の登記の日から施行する。

## 別表第1 常勤役員の報酬年額

### (1) 満60歳に達しない者の報酬年額

役職名	役員報酬の年額
専務理事	13,800千円 (月額1,150千円)
常務理事	12,000千円 (月額1,000千円)

### (2) 満60歳を超え満65歳に達しない者の報酬年額

役職名	役員報酬の年額
専務理事	11,040千円 (月額920千円)
常務理事	9,600千円 (月額800千円)

### (3) 満65歳を超える者の報酬年額

役職名	役員報酬の年額
専務理事	9,600千円 (月額800千円)
常務理事	8,400千円 (月額700千円)

## 別表第2 常勤役員退職手当の算出要額

### (算出数式)

役員退任時の月額報酬×役員通算在任年数×1.5 (役位係数)

### (役員在任年数)

役員在任年数は、1か年を単位として端数は月割とする。ただし、1か月未満は、1か月に切り上げる。

### (特別減額)

退任した役員に在任中にこの法人に対し特に重大な損害を与えた場合は、算出した金額を減額することができる。

### (端数計算)

算出した退職手当の額の端数は、これを10万円単位で切り上げる。